

DAIDO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

同窓会報

第
26
号

平成8年1月1日

迎春



DAIDO
GOBYS

このマークは同窓会設立30周年を記念して創った大同工業大学同窓会シンボルキャラクターの「GOBYS」(魚のハゼ(GOBY)の名に由来)です。



An alumni bulletin

新年のごあいさつ

大同工業大学 大学事務局長 川崎 晃



新年明けましておめでとうございます。同窓会の皆様には、よき新春をお迎えになったこととご推察いたします。

さて、昨年4月に大同工業大学の大学事務局長に就任いたし、初めての新春を迎え、その責任の重さを感じております。文部省に約8年、国立大学の事務職として30年強勤めまして、初めての私学の経験です。

就任以来1年に満たない訳ですが、この激動の時代の大学運営の難しさをひしひしと感ずるこの頃です。本年が大同工業大学の飛躍の年であることを願いつつ、筆を進めます。

バブルが崩壊し、産業構造の変化や、国際化、情報化が急速に進んでいます。

また、人口構造も高齢化、少子化が進み、特に大学の就学年齢層（18歳人口）がここ数年で激減いたします。大学をとりまく環境の変化に積極的に対応していけないと大学という準公共機関といえども存立は保障されている訳ではありません。

一例を掲げますと、平成4年に18歳人口205万人（ピーク）大学・短期大学の進学率38.9%入学者80万人であったものが、平成12年には18歳人口151万人仮りに進学率（大学・短期大学）を46%と想定しますと約70万人となり、入学者数が10万人（入学定員1,000人の大学100校に相当）が減ることになります。

現実には色々な状況変化が考えられますが、例えば、高学歴化が進むとか、留学生、企業人、

生涯学習のためのパートタイムの学生が増えることなどが想定されますが、その様な事があったとしても、かなりきびしい状況が参ることは確実であります。

大同工業大学も改革に向けて早足で進まなければいけません。

昨年9月に教授会で、次の事項が提案され、決定しました。

- 1 「教育重視型大学（学生中心型大学）への自覚的転換へ」
- 2 5本の柱の実行
 - 1)教育の充実
 - 2)学生の活性化
 - 3)情報教育の充実
 - 4)研究活動の活性化
 - 5)管理運営の効率化
- 3 学科の改組再編と新学科の設置

前任地である小樽商科大学（旧小樽高商）に「北に一星あり、小（しょう）なれどもその輝光強し。」という言葉がありました。本学にもそのまま通用するように思われます。

本学の「輝光」をどのような形で社会に示すか。500数10校ある大学の中で「大同工業大学なればこそ」という特色と魅力を教職員が一体となって、熱意をもって創出することであろうと思います。

そのために微力を尽くしたいと思います。

同窓会の皆様のご今後のご支援とご指導をお願いいたします。

年頭挨拶

同窓会あいち支部 支部長（68M） 竹島誠二



明けましておめでとうございます。

1996年の新春を迎え、謹んで皆様のご多幸とご繁栄をお祈り申し上げます。さて昨年は国内においては淡路、阪神地区を襲った阪神大震災の余り、オウム事件といった特異な事件の発生に加えて政治の混迷、長期に渡った平成不況で大きく揺れ動きました。国際的には新秩序を模索しながら激動しております。今年は同窓会も32年を迎え、一昨年の創立30周年記念事業の「あのエネルギー」を継続しつつ21世紀に向かって飛躍の年にしたいと願います。

私はあいち支部長に就任して2年目を迎えました。同窓会の原点は「会員相互の和親の向上を図る」にあるとの決意を新たに引続き親睦会、研究会、講演会などの行事を力強く推進してまいり所存であります。私たち同窓会あいち支部の発展は会員のエネルギーが大きくなりとなってこそ実現するのであります。

具体的には1月例会として親睦新年会を開催することで「会員相互のコミュニケーション活性化」を図ることは重点的な施策であります。

また、3月例会には勉強会としてマルチメディアの今後を研究するとか、製造物責任法の施行に伴う対応を研究する等を企画中であります。5月例会におきましては大学教職員と支部会員による親睦ゴルフコンペを計画中であります。7月例会では納涼会を企画いたします。以上の企画を会員の皆様の強力なご支援、ご協力、ご理解を賜りまして推進する所存であります。どうか同窓会あいち支部の活動に皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

あいち支部の活動が活発に成れば同窓会の活動も活発に成り、同窓会の活動が活発に成れば大同工業大学が今以上に発展することと思えます。でありますから、同窓生の皆様の強力なご支援、ご協力を賜り増す様お願い申し上げます。

新年こそは、当面する重要課題を推進する新たな出発点であり、同窓生の皆様のお役に立つ、より魅力あるあいち支部を目指して皆様と共に歩んでまいりたいと存じます。引続きご支援とご協力をお願い申し上げ新年のご挨拶と致します。



もくじ

新年のごあいさつ	2	事務局情報室	8
年頭挨拶	3	キャンパス情報館	9
支部情報局	4	D I T 情報部	10
サークル情報局	7	編集後記	12



支部情報局



関東支部

支部長 (62M) 宮崎定典

早いもので今年で14回目の同窓会を迎えました。普段着の同窓会をしようという事で東京で始めて今までの事が走馬灯の様に思い出されます。毎年、来賓として先生方に参加して頂き、思い出話又最近の大学情報等お聞きしながらお酒を酌交し時の経つのも忘れていました。その先生方の中には、今は故人となられ非常に残念でしたが改めて御冥福を心からお祈り致します。

今の同窓会のあり方は、井塚正義名誉教授のアドバイスで毎年日時と場所を決めて行くのが一番長続きをすると教えて頂いて以来、東京下町浅草の葵丸進で6月第3土曜日の午後4時に開催をしています。今後も続けて参ります。関東一円にお住まいの同窓生の皆様新年度のカレンダーに赤丸印をお願い致します。さて、今回

は山田忠比古先生をゲストとしてお迎えし、大学の近況報告を受けたあと、再会の喜びと、出席者の自己紹介等で仕事での継かりが出来たり、昔話に花が咲きました。

免に角、卒業生が東京に多勢居る事を知って頂き何かの支えになって頂ければと、いつも思っています。

来年は記念すべき15回です。出席者の満場一致で、平成8年6月15~16日に一泊して、同窓会を行う事に決まりました。場所等は、まだ決定していませんが、皆様の参加をお待ちしています。又お会いできるのを楽しみにしています。



香川支部

支部名改称について

支部長 (68E) 藤岡幸伸

全国の同窓生の皆様、新年あけましておめでとうございます。今年も皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

さて、当香川支部は昨年支部発足後10周年という一つの節目を迎えました。この間本当に山あり谷あり(実は谷ばかり)で支部活動としては、盛り上がり欠けていることも否定できません。しかし後を振り返るばかりでは、前へ進まなくなること考え、又、10周年という一つの節目であるということから、そして支部活動のマンネリ化を防ぐという観点から支部組織の拡充、及び今後の支部のさらなる発展を期待し

て、昨年7月22日の支部総会においてその名称を「四国支部」と改め、支部役員をおきました。

(役員名等については後述します)又、支部規約についても作成しました。そして、名称を「四国支部」と改めたのは他にも理由があります。今まで支部総会の案内は四国四県の同窓生に発送していました。しかしながら他県の同窓生にとっては、支部総会開催地が香川という距離的な観念のみでなく、香川支部という名称では感情的にも出席し難い面もあるのではないかと、そして、他面これを機会に他3県でも支部を発足させたいという機運が出てくるのを期待し、その先導的な役割を果たしてはどうかということも考慮したものです。

次に、第10回支部総会・懇親会の様子を少し記述させていただきます。当日は本部より、電気工学科・愛知先生、機械工学科・青山先生の両氏にご出席いただき、同窓生が7名の計9名

という少人数にもかかわらず総会の論議、そして懇親会の盛り上がり他支部に優るとも劣らない程活況を呈しました。予定時間を1時間も延びた程でした。そして殆どの出席者が二次会へと流れて行き、支部を預かる小生としては本当に小規模ながらも将来に向け希望のもてる活動状況に近づいているとその思いを強くした今回の総会・懇親会でした。

このような支部の活動状態ではありますが、今後とも諸氏、諸兄の方々の温かいご指導、ご支援をお願い申し上げまして年頭の活動報告とさせていただきます。

最後に四国支部の役員をここに紹介させていただきます。当支部に対しご意見、ご希望等がありましたらどんなことでも結構ですので聞かせて下さい。

役員及び住所

支部長 藤岡幸伸 (68E)

〒769-01 香川県綾歌郡

TEL

大阪支部

同窓会大阪支部総会報告

支部長 (63H) 佐久間 正 晃

平成7年7月21日に治兵衛道頓堀店において、

同窓会大阪支部総会を開きました。今回もここへ来られています、関西地区の地方懇談会が7月22日に行われるのにあわせて、その前日の21日に支部総会を設定し、関西地区(大阪、奈良、和歌山、兵庫)に在住される同窓生の方々に、同窓会本部より支部総会の案内を差し上げました。支部総会には、同窓会後援会より富田副会長他2名、後援会関西支部より平林支部長他2名、大学からは松浦副学長をはじめ教職員11名の出席をいただき、それに同窓生7名の出席を得て、総勢24名にて盛大に行うことが出来ました。

大阪支部総会はここ数年、地方懇談会の日程に合わせて、開催しておりますので、地方懇談

書記 滝口博久 (68E)

〒761-01 香川県木田郡

TEL 0878

監事 湊 徹 (78A)

〒761 香川県高松市

TEL 0878

- P・S -

今年も7月頃に支部総会及び懇親会を開催致しますのでご多忙中とは思いますが多数のご出席をお願い致します。



平成7年7月22日

於：活魚料・魚市場「小松」

会に出席される為に、来阪される多数の教職員の方々に出席をいただいておりますので、都合のつく同窓生の方には一人でも多く出席していただき、先生方との旧交を温めると共に、同窓生同士の親交も深めて頂きたく思っておりますし、又そういう事の出来る絶好の場ではないかと思えます。

本年も、同じように支部総会を企画致しますので、一人でも多くの方々の出席されん事をお願いして、大阪支部総会の報告と致します。



滋賀支部

支部長(62M) 藤枝俊樹

本年度の総会は平成7年7月21日、母校大同

静岡支部

支部長(67H) 原田光康

平成7年度支部懇談会を、大学の後援会地区懇談会の日程にあわせて、平成7年7月15日(土)、静岡市「割烹 宇越兼」において、開催しました。母校の教職員、大学後援会役員、そして園原同窓会会長の参加もいただき総勢26名でした。

教職員後援会、OBそれぞれの現況や、苦労話などに話がはずみ、楽しい一時を過ごすことが出来ました。学生時代はきびしかった先

あいち支部

支部長(68M) 竹島誠二

事務局長(68M) 日比野満

明けまして おめでとう ございます。皆様にはますますご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年10月7日、あいち支部総会を名古屋第一ホテルにおきまして、24名の方々のご出席をいただき開催させていただきました。

事業報告、会計報告、新規事業計画案、それぞれのご報告をさせていただきご出席の皆様方のご承認をいただきました。

新たにあいち支部にご入会いただきました皆様をご紹介申し上げます。(会費会員)

71M032 岩井兼貞 氏
71M067 加藤親朗 氏
76M043 小川明仁 氏
宜しく願い申し上げます。

工業大学教育懇談会(大阪支部)の日程にあわせて草津市内、日本料理「草月」にて開催されました。大学関係者を含め20名程度の参加でした。

生と社会人になりしばらくしてから話しをして、『あつこんな一面もあるんだ』と思い母校をたずねるきっかけになっていただけたらなと今回は思いました。

今回は浜松で7月の初め頃に行なう予定であります。ぜひ多くの参加をお待ちしています。又同窓会に欠席される方でも、ぜひハガキ、正況を書いて出してください。出席された方に見ていただいています。

なお、会場は、新しくなった86M134高木一浩さんの所で行ないました。彼の料理、お客さんへのこだわりそして夢を聞くことが出来ました。

また、あいち支部総会の場に置きまして、年会費を2,000円にさせていただくこともご承認いただきました。機会がありましたときにでもご入金いただければ幸いです。



・支部親睦スキー教室
95年2月12日(木曾駒新和スキー場)



・支部親睦コンペ
95年11月11日(一志CC)

北陸支部

支部長(74M) 橋詰祐司

新年明けましておめでとうございます。北陸支部総会は平成8年2月に開きたいと思っております。例年通り、北陸の美味しいカニでも食べて、大いに懇親を深めたいと思っております。

燎 会

昨年の会合は10月28・29日に紅葉の木曾駒ゼミナーハウスにて開催致しました。出席者は佐土根先生をはじめ総勢18名でした。ご参加戴きました各位にはお礼申し上げます。なお、幹事が84E宝尺、84E湯本両氏(任期:平成5~7年)から85E肥後、86E溝上両氏(任期:平成8~9年)に交代致しました。

サークル 情報局



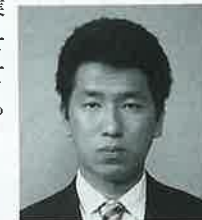
OB情報

畑 違い

91M153 辻村武司

私はついこの間まで大同工大の機械工学科に在籍しており、研究室は井上研究室に所属し、いつも夜遅くまで酒を飲んで騒いで廻りの研究室に迷惑を掛けておりましたが、どうにか、卒業して技術屋として「チヨダウーテ」という石膏ボード国内No.2メーカーに就職しました。そ

れまでは、ごく平凡な理工系の学生と大差はありませんでした。学生時代、政治・経済がとても苦手であった筈の私が、まさに晴天のへきれきと言うべきか現在に至っては参議院議員平田耕一の秘書と言う全く理工系とは門も縁もゆかりもない仕事をしております。急に人生が180度転換し全く畑違いの職業に就いた私ですが、誰にでも経験出来る事ではない勉強が出来て幸せと思ひ、せっかく大同工業大学を卒業したのだからその知識と経験を秘書として生かされるように頑張っ



事務局情報室



★ 夢いちば ★

夢いちば参加出展について

新規事業委員会 (67M) 田辺幹知

平成7年8月27日(日)、大須商店街、仁王門アーケードにおいて、市民グループのブースを設置し意見発表、活動発表をおこない市民に情報発信、PRを行なう。その主旨に当同窓会も、グループ名「ゴビーズ」にて、会員相互の親睦をはかると共に、地域文化の発展及び伝承に尽くすことを活動目的に広報活動をおこないました。

当日は多くの卒業生の協力のもと、ジャンケンゲームなども開催し、多くの子どもさん達にも参加していただき賑やかな展示会場になりました。記念品には、当同窓会のゴビー商品、そして大同工業大学の学校案内配布等をさせていただきました。また、シンパリオシスセンター2010のパネルディスプレイ、大学PRビデオと遊びだけではなくしっかりと大学のPRもさせていただきました。



又、当日は阪神大震災の募金活動も合わせておこない協力していただいた参加者には、同窓会キャラクター「ゴビー」のロゴ入りTシャツもプレゼントさせていただき、多くの浄財と基金に寄贈させて頂きました。

これらの活動を通して、今後も国際交流、教育、文化などの各種支援活動団体とも交流を計りたいと思っています。

最後になりましたが、「夢いちば」開催にあたり御協力をいただきました関係各位の皆様、また、同窓会の役員の皆様には誠にありがとうございました。



第32回錦杯学内レガッタ大会

- 一般の部 (327クルー、160名参加)
 - 1位 山田錦II
 - 2位 ALBATROSS
 - 3位 チーム「青笠」
 - 4位 チーム「松笠」
- クラブの部 (247クルー、120名参加)
 - 1位 ノースリバー
 - 2位 DM ピンクエンジェルきょうこちゃん
 - 3位 DM ピンクエンジェルももこちゃん
 - 4位 DM ピンクエンジェルサリンちゃん

自動車部

8月26日 広島県テクニクスステージタカタ
全日本学生ダートトライアル選手権大会
総合9位

漕艇部

6月23日～25日 岐阜県立川辺漕艇場
第27回中部学生漕艇選手権大会
シェルフォア 第2位
ダブルスカル 第4位

バレーボール部

●秋季大会 2部 4位

楽研究部

11月19日 今池ボトムライン
第15回定期演奏会

吹奏楽団

12月9日 名古屋市民会館中ホール
第10回定期演奏会

キャンパス 情報館



レーシングカート部

- 7月23日 津保川カートランド
ヤマハSLカートレース津保川シリーズ
第1位 93M155 南地将光
- 8月27日 瑞浪レイクウェイ
SLカートレース瑞浪シリーズ第6戦
第3位 93M113 関 泰宏
- 9月10日 津保川カートランド
SLカートレース津保川シリーズ
第2位 93M113 関 泰宏
- 10月29日 津保川カートランド
津保川SLカートレース
第1位 93M113 関 泰宏



D I T 情報部

知多の土で鉄が出来た

平成8年度推薦入学志願者状況

学科	種別	女子学生	工業高校	計
		推薦入学 試験 (11/12実施)	推薦入学 試験 (11/12実施) (12/3~4実施)	
機械工学科		17	100	683
電気工学科		17	71	370
建設工学科	土木工学専攻	32	31	369
	建築学専攻	54	60	445
応用電子工学科		17	75	336
計		137	337	1,729

年間行事(学年暦)変更

平成8年度より、セメスター制(1年間を2学期とし、授業を通年でなく、半年で完結する仕組み。大学では平成6年度より実施。)を念頭において新しい学年暦(年間行事)が編成されます。

■平成8年度 学年暦■

行事名	日付
入学式	4月6日
前期授業開始	4月3日(在学生) 4月9日(新入生)
前期授業終了	7月10日
前期試験期間	7月18~31日
開学記念日	5月2日に振り替え実施
短期留学	8月中に実施予定
前期追・特追・再試験	9月24~30日
夏季休業期間	8月1日~9月30日
後期授業開始	10月1日
後期授業終了	1月27日
後期試験期間	1月28日~2月10日
学位記授与式(卒業式)	3月19日

大同工業大学学術教育基金

本年8月15日、会報でお願い致しました「大同工業大学学術教育基金」にご寄付いただき、ご芳情厚く御礼申し上げます。

この「基金」の運用益をもって、本学の学術教育の事業資金として幅広く有効に活用させていただきます。また、ご寄付は今後も受付を致しますので、主旨に賛同の方は、是非ご協力をお願い致します。ここに、平成7年10月31日までに「ご寄付いただいた方のお名前」をご報告させていただきます。なお、掲載は学科別、年次順、50音順になっています。

寄付者御芳名

- | | | | | |
|---------------|--------------|---------------|--------------|--------------|
| 62M038山中章弘 | 63M055井上敏治 | 63M096長崎昇平 | 64M049西端淳二 | 64M093奥泉 忠 |
| 65M151福岡三七生 | 67M137藤田 進 | 68M089久保健司 | 68M222松尾英明 | 70M248武藤喜久夫 |
| 71M124多賀哲夫 | 78M207武藤 利 | 86M011荒井一朗 | 86M126信耕 望 | 90M003秋津由昌 |
| 90M072栗 俊隆 | 91M174夏目順一 | 65 E 050前田雅信 | 68 E 073滝口博久 | 69 E 034金子謙一 |
| 71 E 022大池峰雄 | 85 E 029尾俣治義 | 86 E 004五十嵐正幸 | 88 E 058佐藤康弘 | 90 E 126三谷司郎 |
| 91 E 119西口隆也 | 84 C 019近藤一仁 | 88 C 085堀田紀之 | 91 C 067寺田貴裕 | 91 C 087松原昌宏 |
| 89 A 014伊奈田啓司 | 91 A 080藤田 誠 | 91 A 094山縣伸也 | 91 A 096山下一高 | 87 D 045小出純三 |
| 89 D 119山元一寿 | 91 D 119三浦智治 | 91 D 121宮本 靖 | 91 D 122三浦 聡 | 91 D 134山元将孝 |
| 81 S 001岸 満 | | | | (敬称省略) |

訃報

電気工学科元教授・三好保徳先生におかれましては、平成7年8月3日急性肺炎と胸膜炎のため逝去されました。享年83歳。謹んでご冥福をお祈り致します。

名誉教授 横井時彦
平成5年土地開発に伴った知多郡武豊町でのウスガイト遺跡で、鉄釘や小刀のほか、加熱炉跡や炉壁が数多く発掘されました。さらに、炉跡近くには小さな巻貝を含む貝がら層も数カ所あって、鉄滓も小片ながら多数採取されましたので、この集合住居跡では、鉄の精練のほか、製鉄から加工までが行われていたのではないかと考えられるに至りました。

古い尾張での製鉄については、井塚政義名誉教授の技術史の御研究で、地元農民の「手づくりの鉄」が提唱されていましたが、先年来、鑄造工学の立場から参画して、砂鉄・岩鉄による小形炉製鉄を続けて、内外に公開して来ました。特に、土岐・多治見・瀬戸・名古屋東部から知多半島に至る地層の中で、鬼板と呼ばれるか褐鉄鉱からの製鉄は、地元原料による製鉄の実証として注目されました。

知多半島の周辺では、大古の東海湖の時代から、東海層群と呼ばれる堆積地層があって、鑄物用山砂の産出で有名ですが、それらの地層を通る地下水が湧出する沼地には、含有鉄分(Fe⁺²)が空気による酸化のほか、鉄細菌が不溶性酸化鉄(Fe⁺³)を作って、赤泥となっている場所があります。北欧などに見られる沼鉄鉱(bog iron ore)と同類のもので、常滑焼の材料にも使用されています。

この赤泥と乾燥・培焼して製鉄原料とし、雑炭と媒溶剤の貝がらと共に、内径200mm高さ1mの円筒炉での製鉄を、11月3日と11月25日の

昨年11月、知多半島の武豊町歴史民族博物館において、横井先生の指導によって知多の土を原料とした鉄づくりの公開実験(特別展)が行われ、中日新聞(11月3日、県内総合版)にて報道されました。そこで、先生に本誌へ寄稿して戴きました。

2回公開実験しました。約1時間に6kgの原料を製錬した結果、炉底に1.5~1.8kgの高炭素鋼塊が溜っていました。

かつて、大学祭の工学展でも公開した小形炉による製鉄実験を、「知多の土で鉄ができた。」と武豊町歴史民族資料館の開館10周年記念特別展の企画を監修しながら、とりまとめることができましたので報告します。



▲南知多の沼地より赤泥を採取

▲小形炉底により製鉄塊の取出し

同窓会会員名簿記載確認票についてお願い

会員調査・情報管理委員会

今号の皆様への宛名カードが会員名簿確認票となっております。右図の例を参考にして御記入の上、同窓会事務局宛御返送下さい。(FAXにて可)

- ・収録人員 約12,000名(H8年3回月卒業生まで含む)
- ・サイズ B5版 400頁
- ・平成8年7月発刊予定

配布予定価格：¥5,000— (送料込み)

- ・詳細は、同窓会報27号(平成8年8月号)にてお知らせ致します。

編

集

後

記

新年明けましておめでとうございます。

昨年は景気低迷のなかにもいくらかは明るい兆しが見えてくる。と言われながら、そのおりの状況にはなかなか至らなかったと思っ
ている方が多いのではないのでしょうか。いじめ、阪神大震災、オウムのはルマゲドン、フランスの核実験、金融腐敗、沖縄基地問題、官官接待など、日本国内は大騒動で目の離せない事件ばかりでした。ただ一つ日本人に希望を与えてくれたのは野茂だけだったのかもしれない。多難な新年度が予想されます。いっそ全ての膿をだしきって、原点からの出発を目指すべきときのように思われます。清貧という言葉に一種の憧れを感じる昨今です。

さて、同窓会は比較的平穏な一年であったようです。95年の同窓会新年号で編集委員の中洞

《記入例》

大同工業大学同窓会96年版会員名簿記載確認票

◎整理の都合上 1996年 1月 30日 までに
ご返送ください。

学籍番号 77H777 * * * * *
(学部) (修士) (博士)

氏名 大同太郎 旧姓・名 福寿
愛知太郎 山田

フリガナ アイチ タロウ 卒業年度 年 月
アイチ タロウ

457

455

名古屋市中南区港町2-10-3

名古屋市港区大手町3-1

大同太郎様

愛知 太郎様

自宅TEL.052-612-8550 FAX.

TEL.052-666-8888 FAX.

勤務先・部署職名

学校法人 大同学園 大同工業大学/事務局 総務課

勤務先住所 457-1名古屋市中南区大同町2-21

457 名古屋市港区港町3-3

勤務先TEL.052-611-0513 FAX.052-612-5623

TEL.052-666-1555

不記載希望

あなたの【会員名簿用電算収録データ】は、上記のようになっています。誤り・記載漏れ等がございましたら下記事項をご熟読の上、加筆・修正し、ご返送願います。

1. 記載データに変更および修正のある方は、訂正箇所を赤色で抹消すると共にその下に赤字で修正願います。
 2. 「原名」、電話番号及びFAX番号も記載願います。マンション等にお住まいの場合は、「棟数・号数」もご記入下さい。
 3. 名簿上に住所、電話番号、勤務先等の記載を希望されない場合は、「不記載希望」欄に押印してください。
 4. FAXにて、ご返送いただいても結構です。
- 大同工業大学同窓会事務局 FAX.052-612-8550

さんがゴールインという記事を編集後記で紹介しましたが、本年は本学教務課勤務でやはり編集委員の小堺君(88A)と広報室の恵(旧姓安斎)さんが11月19日に華燭の典を挙げられました。誠にうらやましい限りです。ご両人は、多岐な世相とは無縁のすがすがしいお正月を迎えられたことと思われま

す。我々編集委員はご両人にあやかって、新鮮な気持ちで賑やかな会報作りを目指したいと考えています。

発行 大同工業大学同窓会
名古屋市中南区大同町2-21
直通電話・FAX (052) 612-8550
大学代表電話 (052) 611-0513
責任者 会長 園原 繁
印刷 名港印刷株式会社